

R1-ZにはR1-Zの苦勞がある…



去年TOTでずっと気になってたバイクがある。
エリア47のRZ。去年秋の大会当日に取材申し込みすると…
乗り手は同じ三宅さんだけどレギュラー参戦はR1-Z、
不定期にRZなんだって。だったら両方紹介しないとね！

■撮影：富樫秀明（走行写真）、黒毛和牛太（走行写真以外）
■取材：黒毛和牛太

T.O.T.

AMAZING MACHINE

2021年5月8日大会ZERO-2クラス予選5位 決勝6位

47 三宅健司 & R1-Z

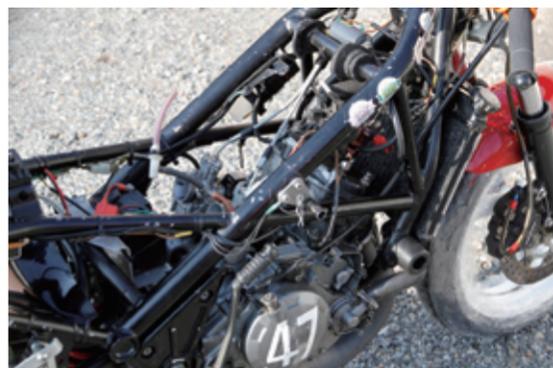
(エリア47)



整備性GOOD!



エリア47の藤井代表が力説していたのがRZ、RZR、R1-Zといったヤマハ車の整備性の良さ。可動式シートカウルで電装系を整備しやすく。



ピストンはTKRJ、キャブはPWK28。フレーム補強はなし。FキャリアはTZ流用。「レギュレーションを守った上で楽しんでます！」

チャンバーはパワーパイプ製で、CDI、コイル、フライホイールなど含めてセッティングしてもらった。エンジン本体はノーマル準拠だがこれでかなりの戦闘力アップを果たしている。タンクの大パッドは「シートレールの角度が急なのがお尻が前に来ちゃうから」だって。

速さのR1-Z、美しさのRZ。2台で2ストを極めちゃう？
転動が多くてバイクに乗れなかつたという三宅健司さん(51)。部署が変わって東京に落ち着けるようになり「筑波を走ってみたいな」という昔からのちょっとした夢を叶えることにした。マシンは若い頃乗ってたRZ-R!
三宅「45から始めて6年目ですが。RZ、Rはイジれば速いけどよく壊れる、メンテが大変なので4年程前にこのR1-Zにスイッチしました」
R1-Zからはエリア47と組んでマシンに関してはほぼお任せしている。レギュレーションでR1-Zは

エンジンノーマルであることが求められる。
三宅「速い、壊れない。長く続けるには大事ですよ」
パワーパイプのチャンバーにして電気系などトータルでセッティングしてもらったところ1分8秒台だったのが6秒台に。そして遂に5秒台も記録！
三宅「下から上までキレイに回る。乗り易いです。5秒台は奇跡です。もう出ません(笑)。ムラがあるんですよ自分の走りは」
目標は特になく今後もレースを楽

YSSショック



前後ホイールはR1-Zノーマル。スイングアームはR1-Zのノーマル。タイヤはピレリスーパーコルサ。RショックはYSSのスペシャル。

RS125カウル



RS125流用の上側カウル装着。アンダーはサイズ的に無理なんだそうだ。ストロボラインのペイントはオートショップヒツキが担当している。

'70年代市販レーサーの面影…



そしてZERO-2で最も美しいマシン



④7 三宅健司 & RZ250

2021年11月6日大会ZERO-2クラス予選 22位 決勝リタイア

このRZが凄いいコンパクトなのがよく判る写真。他車より一回り以上小さく見えます。速さ的には劣ってても見た目、雰囲気、いいんだよな〜。

RZエンジンベースで50PS、乾燥重量100kg!

エンジンはTKRJ製オーバーサイズで254cc。キャブはTMX30。チャンバーは見た目重視で当時物SSイシイを採用。リードバルブは純正の倍の数の穴が空いているというVFORCE4カーボン。バギー用を流用しているとのこと。



エリア47倉庫にはお宝がザクザク。この車両のシートカウルは本物のTDのもの。これのレプリカをRZレーサーに着けたってワケです。



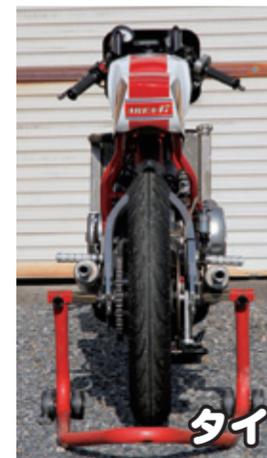
TDレプリカのシートを着けたいがためにシートレール幅を狭くする加工をしている。藤井「後ろから見るとライダーのお尻しか見えません」



TZ用セラートハンドルを片側300gずつ軽量化して装着。フロントフォークはRZだとφ32mmで流石に細すぎるのでφ35mmのRZR用を使用。



'70年代のヤマハ市販レーサーTZとかTDのイメージ。小さいテールカウルはTDレプリカ。タイヤはダンロップTT900GP前後18インチ。FキャリアーはXJR400流用。長いタンクは最後期型RZ50のもの。こんな長かったんだ(笑)。



タイヤ細!



エリア47代表 藤井弘行氏



RZ専門店として超有名なエリア47(埼玉県八潮市西袋1470-6-1F 048-954-6672 www.area47.co.jp)。来店前に必ず連絡してアポ取ってね。47都道府県を制覇するという意味でエリア47と名付けたんだって。チームウェアの背中には全国制覇と謳ってるそうす。

るとはいえ11秒台を記録しているそうです。速いんですよ実は。藤井「TOTの方はこのRZ、不定期参戦になってますがもって出した気持ちがあります。ドバー2に移ろうかなとか…」それどころか新クラス設立の野望(っ)まであったりする。藤井「もっと昔懐かしいスタイルでやりたい。ノーマルのGT380とRZ、どっちが速いのか? 見たくないですか? そういうクラスを作りたいんです」そのためには台数を集めなければならぬ。準備段階として走行会を開催して仲間を募ることから始めたというから…もしかしてマジ!?期待して続報を待ちましょう。

しんでいきたいという三宅さん。そんな三宅さんがどんなバイクなのか気になって乗せてもらったというのがエリア47もう一台のマシン、RZ。こちらに関してはエリア47代表藤井さんに話を聞いてみよう。藤井「初期型のエンジンでどこまでできるか。チャレンジしてみました」RZのエンジンとRZRのエンジン。似たようなものだろうと思っただら大間違い。全然違うんだって。RZRのエンジンを使う人は多いけどそこをあえて…とことん初期型! タイムは去年11月のベストで1分14秒414。ぶっちゃけ速くはない。藤井「ですが初期型ベースのエンジンで50馬力出ます。実はタイムもTZより速いんですよ」エンジンと共に拘っているのが軽量化。ここで何グラムここで何グラムと細かく計算して達成した乾燥重量100kg! ちなみにスポークホイールは見た目重視で採用。純正火炎ホイールはよく出て来て元々軽いんだって。それでもリアホイールで300gの軽量化となっている。藤井「Sディスクだと100kg弱。現状ライダーの希望もありWにしていますがこれだと100kg超え(笑)」このRZ、JDスターのドラッグレースにも参戦中でギア比を変えて